



生活クラブ風車 夢風 News

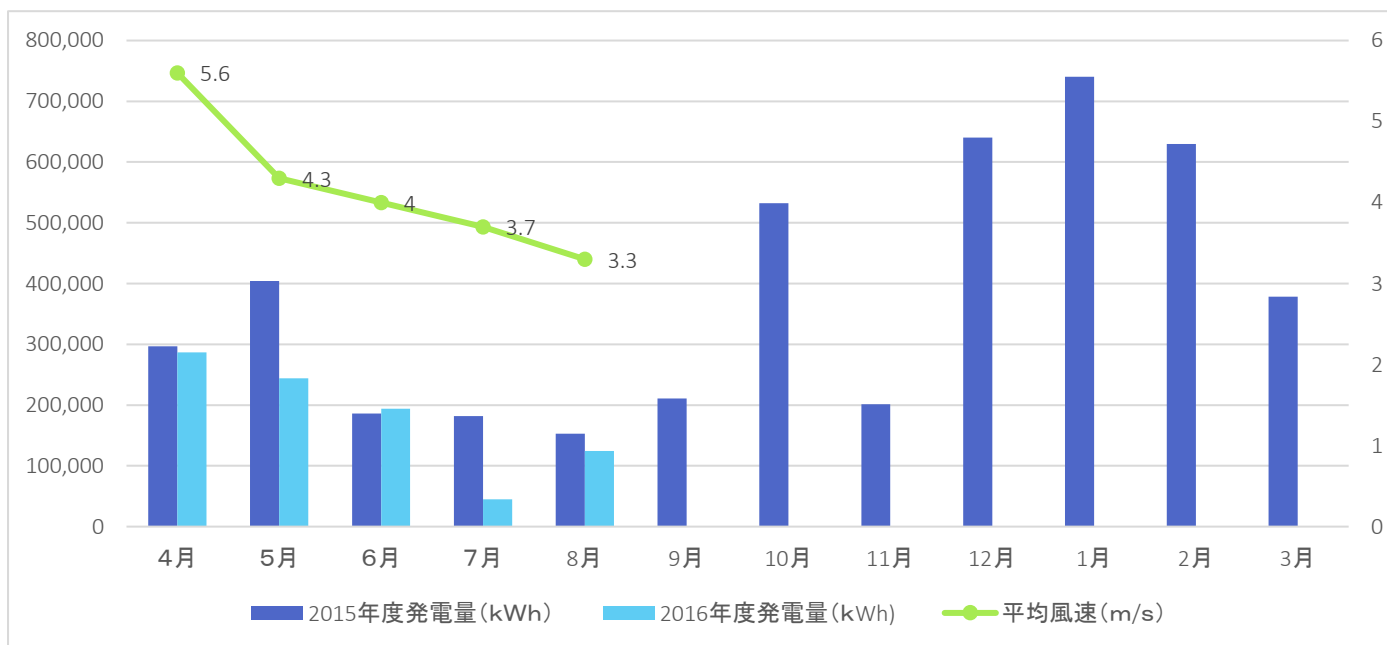


Vol.51

●発行 2016. 9. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田
●発行責任者 半澤彰浩(代表理事) ●編集責任者 西村明子

■2016 年度 発電実績

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	286,904 【96.7%】	5.6	20.0	10月			
5月	243,884 【60.3%】	4.3	16.5	11月			
6月	193,900 【104.3%】	4.0	13.5	12月			
7月	45,130 【24.8%】	3.7	3.1	1月			
8月	124,507 【81.3%】	3.3	8.4	2月			
9月				3月			



○風況は平年より低めでした。(昨年8月より-0.6m/s)

○稼働率は97.7%と順調に発電しています。

リーダーツアーの時の夢風。
田んぼや畑の作物や、畔の草花に囲まれていました。



7月30日(土)、31日(日)東京、神奈川、千葉、埼玉の4単協の新しい組合員リーダーがにかほ市を訪れ、風車を見学したりにかほ市の方々と交流したりしました。夢風ニュースVOL.50に引き続きリーダーツアーの様子をお伝えします。

31日はにかほ市金浦公民館で「おだやかな革命～未来を変える電気の共同購入」の映画上映とシンポジウムが行われました。にかほ市須田副市長をはじめ、芹田地区の方6名と、夢風ブランド生産者連絡会の6名の方々にご参加いただきました。はじめに、生活クラブ東京の田中副理事長より、「6月から生活クラブの電気に切り替えたが、夢風の電気はちょっと明るい気がする」との主催者挨拶がありました。映画では、今年のリーダーツアーの様子をはじめ、なぜ生活クラブが風車を立てることになったかや、それにかかわってきた人たちの様々な思いなどが紹介されています。風車をめぐる様々なことからも、映像で見るととてもよくわかります。映画に引き続き、法政大学教授西城戸誠さん、名古屋大学教授丸山康司さん、いでは堂監督渡辺智史さん、芹田自治会長荒川定敏さん、伊藤製麺所伊藤実さん、生活クラブ千葉理事船水香さんをパネリストに半澤代表をコーディネーターにシンポジウムが行われました。渡辺監督は「活動をしているときの取り組みの熱量のようなものが映像を通じて組合員の方にバトンされていくイメージで編集しました。(自分の地元の)鶴岡市にもいろいろな風車が立っているが、一本の風車にこれだけの多くの人がかかわれる事例は他にはないのではないかと思います。」と話していらっしゃいました。



金浦公民館での映画上映の様子



シンポジウムのパネリスト:半澤代表 渡辺監督 西城戸教授

リーダーツアーの参加者アンケートからは「色々な人がかかわって『エネルギーの自治』を目指していること、「地域間連携」ということが肌で感じられてよかった。」「おだやかな革命というタイトルがとても良いと思いました。風車だけではなく、風車が生み出すものは人と人とのつながりと交流で、生活クラブの原点を見たようでした。」という声が上がっていました。

この映画のDVDは生活クラブ連合会をはじめ、各単協や関係各所にも配布されています。本篇は26分30秒です。多くの方にご覧いただける機会があることを願っております。



シンポジウムのパネリスト:丸山教授 伊藤代表 荒川会長 船水理事

■元滝伏流水視察

映画とシンポジウムの後は、元滝伏流水を視察しました。バスで20分ほど山側へ移動し駐車場からは徒歩移動です。緩やかな山道を歩くと次第に脇を流れる川には美しい苔が生えた石が並び幻想的な雰囲気を感じます。10分ほどで元滝伏流水に到着。この滝は一見普通の滝のようですが流



れる水がすべて鳥海山の山腹から染み出



↑きれいな水と空気に写真を撮らずにはいけません。

した伏流水です。水温が低いためこの滝の周りはいつでも水蒸気が上がっており、そのために苔が美しく育っているそうです。景色に見とれてしまいますがそれもそのはず、にかほ市の観光ポスターにもなっている場所です。参加者たちは暑さを忘れて思い思いに写真を撮ったり、水に触れたりしてマイナスイオンやフィトンチッドいっぱいの空気を楽しみました。

■ 組合員に聞きました。「にかほのお土産何買った？」

ツアーの最後は道の駅「ねむの丘」での自由時間。三浦米太郎商店のお弁当で昼食を済ませた後は短い時間でしたが、お土産を買ったり、風景を楽しんだりと思い思いに過ごしました。組合員リーダーツアーの参加者に、購入したお土産を聞いてみました。

飛良泉酒まんじゅう はたはたパイ くるみ餅 ねむのはな 風車の見える街サブレ いちじくジャム あおさのり 踏もろこし



今回のツアーお土産人気 NO.1

いちじく甘露煮 ゆり根のかりんとう 小豆のとっかん 笹だんご ぶりこんぱいー 鱈しょつつる はたはた甘露煮 いぶりガッコ もろこし 飛良泉氷結酒 タラーメン（塩） ぐず湯

飛良泉という記載が好奇心を刺激してか、酒饅頭の人気が高いようでした。また、しょつつる入りのはたはたパイも人気でした。みなさん帰宅後はお土産を囲んでお話が弾んだのでしょね。

バスの出発の際は、炎天下の中「ねむの丘」支配人永須さん(写真左)とスタッフの方が大きな手でお見送りしてくださいました。



永須支配人とスタッフの方のお見送り

2016年8月25日(木)～27日(土)に、法政大学人間環境学部の西城戸教授のゼミ合宿が秋田県にかほ市で初めて行われました。2年～4年生のゼミ生総勢34名と西城戸先生とお子さん、GF秋田より半澤代表と鈴木事務局長が参加しました。

秋田駅からまず、にかほ市象潟庁舎をご訪問し、企画課佐々木課長より、にかほ市の再生可能エネルギーの状況と生活クラブとの地域間連携についてのレクチャーを受けました。市からは、「行きたくなる、住みたくなる、にかほ市」のために、にかほに足りないものは何か？意見を聞きたいと依頼がありました。

2日目は、芹田の加工用トマトの収穫でしたが、生憎の大雨で、芹田自治会館で荒川会長のご挨拶と半澤代表による生活クラブ風車の学習会、芹田地区の方々との交流のみとなりました。夕方からは、にかほ市企画課、芹田の方々などと一緒に、バーベキューを行いました。芹田の野菜やお米(おにぎり)、日南工業の服部さんから頂いた鱈しょつつるの焼うどんも美味しく、楽しい交流ができました。

3日目は、夢風ブランド開発生産者の佐藤勘六商店に伺い、特産のいちじくの話と広い畑を見学させていただきました。そして、生活クラブ風車夢風の視察です。秋晴れの下、初めて見る風車の大きさにビックリした様子でしたが、ナセルの支部名に自分の出身地を見つけたり、写真を撮ったりして、思い思いに風車を実感しているようでした。

今回のゼミ合宿は、西城戸教授とにかほ市役所のご尽力と生活クラブの協力による開催となりました。学生たちは、はじめてにかほに来て、にかほ市や再生可能エネルギーを実際に感じて、そこに暮らす方々の話を聞き、にかほを身近に感じる事が出来たと思います。また、にかほ市の方々にとっても、相互に良い交流となったと思います。



法政大学人間環境学部西城戸ゼミの皆さん

■ ぶらり人形町

グリーンファンド秋田の事務所付近には、人形町駅はじめ、水天宮前駅、日本橋駅、浜町駅など徒歩10分圏内にいくつも地下鉄の駅があります。通勤ルートを探していたある時、事務所の近くに、「出世稲荷」という何とも気になる場所を地図で見つけ、先日帰宅時にちょっと回り道して行ってみました。地図にはビルで囲ま



出世稲荷のお社

れた中に鳥居マーク。本当にこんなところにお稲荷さんが…あるの…？ありました！マンションの自転車置き場(右写真→)



が参道(?)になっていました。おそろおそろそこを通り抜け、お稲荷さんに「風車夢風がしっかり働きますように♥」とお参りしてきました。日本橋人形町、古い街だけにほかにも気になるものがたくさんあります。迷子の猫祈願もしてくれるというお稲荷さんもこの近くにあるんですよ。機会がありましたらまたご紹介したいと思います。